

日時：平成31年2月25日（月）9：00～9：40

場所：市役所第4会議室

出席者：市長、副市長、教育長、理事、企画部長、総務部次長、民生部長、民生部次長、農林水産部長、建設部長、復興局長、防災局長、消防長、教育次長、商工観光課長、企画政策課長補佐

取材者：建設新聞社、読売新聞、IBC岩手放送、テレビ岩手、朝日新聞、岩手建設工業新聞、NHK、岩手日報、河北新報、東海新報、毎日新聞、岩手めんこいテレビ（敬称略、順不同）

市長挨拶

本日は、平成31年第1回市議会定例会が開催されるにあたり、その内容等をお話しさせていただきたいと思っております。平成31年度も始まるということで、予算規模等の話もありますが、まだ陸前高田市は復興の途上にあり、若干総額は減っておりますが、まだまだやらなければならないことが沢山あるという状況だろうと思っております。よろしくお願い致します。

会見項目

（1）平成31年第1回市議会定例会について

担当者)

会期につきましては、2月27日から3月22日までの24日間の予定であります。

一般質問につきましては、通告締切日が施政方針演説の後となるため、2月28日となっております。なお、現在13人の議員からの一般質問が予定されているところであります。

提出案件であります。報告が2件、提出議案が48件であります。

主な内容につきまして、ご説明をいたします。

はじめに、議案第7号は、「陸前高田市庁舎新築工事の請負契約締結について」であります。去る2月5日に入札を執行し落札しております。市庁舎新築工事の請負契約を、議会の議決を受けようとして、提案するものであります。

議案第16号は、「平成30年度陸前高田市一般会計補正予算（第5号）」についてであります。今回の補正の内容であります。ふるさと納税等寄付金の積立金及び事業費の精算等に伴う予算を、計上しているところであります。歳入歳出予算の総額からそれぞれ155億6,128万2千円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ864億9,788万2千円とするものであります。

議案第17号から議案第23号までは、下水道事業特別会計から水道事業会計までの補正予算であります。説明は割愛をさせていただきます。

議案第26号は、「陸前高田市部等設置条例等の一部を改正する条例」であります。市民目線に沿った利用しやすい行政サービスを基本にした窓口業務における利便性の向上、産業振興にあつては、市特産品のブランド化や販路の拡大、さらには、交流人口の拡大、福祉施策の充実や地域コミュニティとの連携強化などを図るため、行政組織機構

の改正をしようとして提案するものであります。

議案第32号は、「陸前高田市子ども、妊産婦及び重度心身障害者医療費給付条例の一部を改正する条例」であります。医療費給付事業における子どもの医療費の無償化及び現物給付の対象拡大をしようとして、提案するものであります。

議案第35号は、「陸前高田市市営住宅条例の一部を改正する条例」であります。市営住宅の一部をみなし特定公共賃貸住宅として使用するため、所要の改正をしようとして提案するものであります。

議案第41号から議案第48号までは、平成31年度当初予算案であります。内容につきましては、このあと別途、説明をさせていただきます。

(2) 3～5月の行事予定について

担当者)

3月11日は、「東日本大震災追悼式」が夢アリーナたかたで開催します。また、「3.11夢あかり―陸前高田の慰霊と復興―」が、陸前高田ふるさと復興応援隊の主催で栃ヶ沢公園で開催されます。

3月16日～17日には、「陸前高田グローバルキャンパス春呼び祭」を、陸前高田グローバルキャンパス春呼び祭実行委員会が主催で、古舘伊知郎さんのトークライブや、安田菜津紀さんによる中高大生ジャムセッションなどが行われます。

3月17日には、「みんなの夢AWARD in 陸前高田2」が、これまで勉強会や相談を行い、12月にファイナリストとして選考された5人が事業計画を発表しグランプリを決定します。なお、高校生の発表も行う予定となっております。

3月20日には、「介護予防教室ふりかえり交流会」が行われます。

3月30日には、「第3回川崎フロンターレにこここサッカー教室」が開催されます。

4月3日には、「気仙保育所竣工式」を行います。

4月21日には、「第1回高田松原植樹祭」が開催されますが、以下の日程で継続して開催されます。

5月5日には、「全国都道府県対抗eスポーツ選手権2019 IBARAKI 岩手県代表決定戦」が、10月に開催される第74回国民体育大会及び第19回全国障害者スポーツ大会の文化プログラムとして初めてeスポーツ大会が開催されるものであります。この岩手県の代表を決める予選として、陸前高田市を会場として開催されるものであります。

(3) 平成31年度当初予算(案)について

市長)

平成31年度「当初予算(案)の概要」を申し上げます。

平成31年度予算においては、「2 予算の特徴」に掲げておりますが、東日本大震災からの復興復旧事業については、優先的に実施し、土地区画整理事業や都市計画街路整備のほか、公共施設の復旧事業の確実な実施を図るものでございます。

そして、現在、市議会に上程しております「陸前高田市まちづくり総合計画」を基に

した各種施策の展開と、まち・ひと・しごと総合戦略に基づき、交流人口の拡大、子育て支援等に係る事業を推進してまいります。

また、窓口部門等の包括業務委託による行財政改革により、効率的な予算措置を行いながら、市民サービスの向上を図ることとし、一般会計予算では、732億2,100万円（対前年度比163億2,600万円、18.2%の減）としたものであります。

以下、概要につきましては、総務部次長から説明させます。

担当者)

平成31年度「当初予算（案）の概要」について、ご説明をいたします。

平成31年度予算においては、「1 予算編成方針」のとおり、東日本大震災からの復旧・復興事業については、引き続き優先的に実施しながら、平成31年度が計画の初年度となる「陸前高田市まちづくり総合計画（案）」に、基本理念として掲げる「創造的な復興と防災・減災による安全・安心なまちづくり」、「ノーマライゼーションという言葉のいらぬまちづくり」及び「次世代につなげる持続可能なまちづくり」を基にした各種施策を展開し、新たなまちづくりを進めていくとともに、「まち・ひと・しごと総合戦略」の最終年度となることから、目標を達成するための事業を推進しその成果を着実にあげ、本年10月1日からの消費税率の引き上げなどの状況変化を踏まえ、事業効果、効率性の観点から既存事業の見直しと経費の節減を行うとともに、創意と工夫により限られた財源の最大限の有効活用を図り、復旧・復興事業の推進及び市民サービスの向上を図ることとして、予算編成を行ったところであります。

「2 予算の特徴」につきましては、市長が申し上げましたとおり、一般会計予算額は、732億2,100万円となり、要因としては、復興事業の進捗に伴う高田地区土地区画整理事業、都市計画街路整備事業等の減によるものであります。

「3 一般会計当初予算の推移」であります。平成31年度は前年度比18.2%の減となり、復旧・復興事業の進捗により、減少しておりますが、震災前の予算規模と比較すると、大型の予算規模であります。

「4 予算（案）の内訳（一般会計）」であります。平成31年度が、「陸前高田市まちづくり総合計画」の初年度となることから、基本目標毎に事業を区分し集計しております。

「1 復興の確実な推進と誰もが安心して暮らすまちづくり」であります。高田・今泉両地区の土地区画整理事業、漁港海岸施設災害復旧事業など、61事業、490億7,707万2千円。

「2 快適に気持ちよく暮らすまちづくり」であります。都市公園整備事業、市道改良舗装事業、浄化槽設置推進事業など、50事業、25億5,070万3千円。

「3 安全・安心で環境にやさしいまちづくり」であります。可燃物運搬中継施設管理事業、消防団運営費、防災行政無線等施設整備事業など、40事業、8億1,779万3千円。

「4 子どもたちを健やかに育むまちづくり」であります。法人立保育園児童保育実施事業、児童生徒遠距離通学事業、放課後児童健全育成事業など、73事業、17億9,505万5千円。

「5 とともに支え、健康に暮らすまちづくり」であります。ふるさと納税活用事業、

障がい者自立支援給付事業、未就学児、小学生、妊産婦、ひとり親家庭、寡婦医療費給付事業など、48事業、30億4,448万9千円。

「6 市民と築く交流と連携の住みよいまちづくり」であります。コミュニティ推進事業、人口定住増加対策推進事業、陸前高田思民推進事業など、17事業、1億9,204万8千円。

「7 活力に満ちあふれ豊かに暮らすまちづくり」であります。水産業共同利用施設復興整備事業、交流人口拡大事業、ピーカンナッツ推進事業など、90事業、10億5,932万3千円。

「8 市民にわかりやすく健全な行財政運営」であります。長期債償還元金、包括業務委託を含む総務管理事務費、テレビ共同受信施設整備事業など、23事業、27億2,280万1千円。

9のその他として、人件費や管理事務経費等で、123事業、119億6,171万6千円。

総計で525事業、732億2,100万円であります。

「主な基金の残高見込み」は、お目通し願います。

「一般会計」の「事業一覧」を陸前高田市まちづくり総合計画（案）の基本目標、基本政策毎に、事業名と予算額を、11ページまで掲載しておりますのでお目通し願います。

次に12ページをお開き願います。

「6 平成31年度各会計予算（案）」であります。一般会計と、下水道事業から介護保険までの6つの特別会計を合わせた全会計の予算総額は、796億5,672万1千円となったところであります。

「7 平成31年度一般会計予算（案） 歳入歳出の内訳」であります。主な項目の金額と増減理由を申し上げます。

(1) 歳入の自主財源のうち、「1 市税」は、18億9,321万4千円で、対前年度比10.4%の増で、固定資産税の増によるもの。

「5 寄附金」は、4億1,165万3千円で、対前年度比25.2%の増で、ふるさと納税の増によるもの。

「6 繰入金」は、260億9,436万円で、対前年度比11.2%の減で、東日本大震災復興交付金基金繰入金の減によるもの。

依存財源のうち「7 地方特例交付金」は、3,816万9千円で、対前年度比247.0%の増で、子ども・子育て支援臨時交付金の増によるもの。

「8 地方交付税」は、166億5,336万6千円で、対前年度比5.1%の増で、震災復興特別交付税の増によるもの。

「10 国庫支出金」は、219億2,569万9千円で、対前年度比31.6%の減で、東日本大震災復興交付金の減によるもの。

「12 市債」は、12億3,246万3千円で、対前年度比30.4%の減で、社会福祉施設整備事業債の減によるものであります。

(2) 歳出 ア 目的別であります。主な増減理由を申し上げます。

「2 総務費」、対前年度比45.4%の減は、東日本大震災復興関連基金積立金の

減などによるもの。

「3 民生費」、6.8%の減は、保育施設再建整備事業の完了による減によるもの。

「4 衛生費」、22.6%の減は、保健福祉総合センター建設事業の完了による減によるもの。

「5 労働費」、2.6%の減は、認定職業訓練事業費の減によるもの。

「6 農林水産業費」、45.0%の減は、高田松原地域振興施設整備事業費などの減によるもの。

「7 商工費」、8.4%の減は、市民の森管理事業費などの減によるもの。

「8 土木費」、12.4%の減は、高田地区土地区画整理事業費、都市計画街路整備事業費、復興関連道路整備事業費などの減によるもの。

「9 消防費」、15.2%の減は、消防屯所新築工事の完了に伴う減によるもの。

「10 教育費」、31.4%の減は、小学校移転事業費、小学校統合事業費などの減によるもの。

「11 災害復旧費」、18.8%の増は、漁港海岸施設災害復旧事業費、市役所庁舎災害復旧事業費などの増によるものであります。

15ページのイ性質別は、お目通し願います。

16ページ「8 予算規模の推移」でありますがお目通し願います。

「9 市債残高の推移」でありますがお目通し願います。年度末市債残高の平成31年度は、前年度から2,827万9千円減の123億5,127万2千円で、今年度、災害公営住宅建設に係る市債の繰上償還等を行ったことにより、残高が減となったものであります。

「10 プライマリーバランス及び実質公債費比率の推移」でありますがお目通し願います。平成31年度のプライマリーバランスは、1億2,637万3千円のプラスとなっております。

「11 平成31年度当初予算（案） 主な新規予算項目」でありますがお目通し願います。「陸前高田市まちづくり総合計画（案）」の基本目標・基本政策毎に主な新規予算項目をまとめたものになります。

下段の「19 安心できる医療・介護・福祉体制を整える」の政策においては、子どもの医療費助成に係る所得制限をなくすとともに、高校生等医療費給付事業を新たに行い、これまで中学生までが対象の医療費無償化を高校生まで拡大しようとするものであります。

「21 協働によるまちづくりを推進する」の政策においては、市内各コミュニティ推進協議会主体による、自主的なまちづくりへの活動を支援するため、各コミュニティへ500万円の交付を新たに行おうとするものであります。

「27 商工業の振興を図る」の政策においては、五の市再開支援事業を新たに実施し、五の市の再開に向けた参加者への調査等業務を行おうとするものであります。

「33 利便性の高い行政サービスを提供する」の政策においては、行政事務包括業務委託を新たに導入し、行政事務の窓口部門等を包括業務委託することにより、行政事務の効率化を進めながら、市民サービスの向上を図るものであります。

その他の主な新規予算項目はお目通し願います。

【質疑】

質問)

コミュニティ活動推進補助の補助対象を教えてください。

担当者)

今後、地区コミュニティの方々と相談させていただきながら、制度設計をしていきたいと考えている。できるだけ使い勝手がよいものにしていきたい。飲食など、使えないもののネガティブリストを作成し、それ以外で地域の方々が自主的な活動ができるような制度作成をしていきたいと考えています。

質問)

「4 予算(案)の内訳」で前年度と同じような区分けで比較はできるか。

担当者)

今年度は、新しい陸前高田市まちづくり総合計画(案)の基本目標毎に区分しているため、昨年度と区分を変えているため、同様の算定ができない。

質問)

今泉地区の土地区画整理事業費において、完了までの総額はいくらになる見込みですか。

担当者)

現時点では、1,600億円程度で計画を策定しているところであります。

質問)

今年度のふるさと納税の実績の見込額はいくらになりますか。

担当者)

昨年度が約4億4,000万円であったが、今年度は4億程度の見込みとなりそうです。

質問)

市税収入が、対前年度比較で10.4%増となっているのは、土地の引渡し等が進んだことに伴い建物の建設が進み、固定資産財が増えたのが要因と考えてよいでしょうか。

担当者)

そのとおりであります。

質問)

人件費の伸率が13.1%の減になっているのは、行政事務包括業務委託によるものでしょうか。

担当者)

行政事務包括業務を委託するとともに、一定の事業の見通しが付いたことに伴い任期付職員を含め、正規職員の人数が減ったことも要因の一つとなっている。

質問)

平成31年度当初予算のうち、主な新規予算項目のなかで、重点施策の項目は何になりますか。

市長)

一つには、コミュニティ推進事業費が挙げられます。地域の皆様で話し合いをしていただいて、地域の合意により道路の整備など、地域の課題を解決していただけると同時に、

地域のコミュニティ力をさらに強めていただくことが、この制度の目的でもあるため、是非活用いただきたい。

質問)

コミュニティ推進補助におけるコミュニティの単位はどのように考えていますか。

市長)

現存する11のコミュニティであり、大きな地区では意外と目配せができるが、小さい地区になるとなかなか要望に応えきれていないところがあるため、大小、人口に関わらず、どの地区にも一律の金額で補助をしていくことを考えております。

質問)

主な新規予算項目のうち、タピック45震災遺構保存調査設計業務委託とあるが、今後の整備予定はどのようになっていますか。

担当者)

実際どのような工事が必要かの調査を新年度に行い、工事は平成32年度を予定しており、気仙中学校やタピック45などが、平成33年度から入れるように整備ができればと考えております。

質問)

今泉北地区基本計画策定等業務委託においては、どのような内容を計画しておりますでしょうか。

担当者)

区画整理事業の南側の防集エリアとして、市が多く所有している土地の活用方法が課題となっておりますが、一つの案が出てきておりますので、それを具体的に実現していくための調査を行っていくものになります。

質問)

ピーカンナッツ推進事業費において、新年度でどれくらい進める予定としていますか。

担当者)

今年度はグリーンハウスの設計を委託しており、新年度はアメリカから苗木を輸入してグリーンハウス内で育苗していくことを想定しております。

質問)

高校生等医療費給付事業費において、所得制限を無くすとありましたが、その年齢の範囲はどのようになりますか。また、予算規模はどのくらい拡大するのでしょうか。

担当者)

中学生までの給付を高校生の年齢の18歳までに拡大するとともに、所得制限を無くす対象も18歳以下の子どもとしております。

また、高校生(18歳)までの拡大で約580万円、中学生以下で所得制限を無くすことによる拡大では約800万円となっています。

質問)

現在までの所得制限とは、どのようなものだったのでしょうか。

担当者)

何段階かありますが、市県民税非課税世帯というかたちになります。

質問)

新年度予算においての、復興計画に基づいた事業の数とその予算額を出すことはできますでしょうか。

担当者)

時間をいただけるようであれば、出すことはできます。

質問)

ふるさと納税の額が下がるという話であったが、来年度の歳入における寄附金の予算額では対前年度比較で伸びているのはなぜでしょうか。

担当者)

昨年時の当初予算案の計上では、ふるさと納税を多く見込んでおらず3億円台であったが、今年度の推移を見たところ、4億円台となりそうなことから、来年度の歳入予算でも同様の額で計上したためであります。

質問)

来年度の予算規模は、震災以降最低額となりますでしょうか。

担当者)

当初予算では、平成28年度の予算額が最低で、来年度は2番目に少ない額となります。

質問)

震災前の平成22年度の予算額はいくらぐらいだったでしょうか。

担当者)

約110億円でありました。

その他

【質疑】

なし

以 上